

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

第27号

発行 平成19年10月25日

本当の強さとは？

六趣輪廻の因縁は
己が愚痴の闇路なり
闇路に闇路を踏そえて
いつか生死を離るべき

白隠禪師坐禪和讃の一文です。人間には、完全ということはありません。強みもあり、また弱

さも持っています。他から見れば、あれだけ何でもできる人はいない、なんて評価されながらも、当の本人にしてみれば、そう評価されたなら弱みは見せられないと無理をしているのかもしれない。

大相撲の朝青龍は、とても強くて腕白っぽいし、人から何と評されようどこ吹く風の感じでかわっていたように見えていたのですが、いろいろな原因が重なってでしょうか、何ともろくにその感じが崩れ去りました。ボクシングの亀田大毅選手は、自分の強さを見せつけようと無理を重ねてきた感じですが、本当の

強さを知らないままに持ち上げられてしまったように思います。お釈迦様の十大弟子の一人、神通力第一の目連尊者ですら、その神通力を持つてしても地獄で苦しむ母親を救うことができません。多聞第一の阿南尊者は、修

行中に現れた餓鬼に、「後3日でおまえは死ぬ」と言われて困り果て、お釈迦様に助けを求めていきます。いずれも、人から完全無欠な人のように言われながらも、その裏に隠された弱さがあることを物語っています。

強さと弱さ、この相反することが実はいつも表裏一体となって人間には存在していることになりま。むしろ、弱さがあるからこそ、その強さが存在するのかもしれない。

強気で強気で

生きてる人ほど

些細な寂しさで

つまづくものよ

中島みゆきさんの「誕生」という歌のなかの一文です。「柳に雪折れ無し」といいますが、見た目の強さよりも柔軟な心、弱い者を思いやるその心の方が何事にも耐える力を持っているということでしょう。弱い犬ほど、よく吠えるものなのです。



開山無相大師六五〇年遠諱 大本山妙心寺参拝のご案内

すでに募集チラシをご覧いただいていると思いますが、今年は大本山妙心寺への団体参拝を実施いたします。特に今回は、開山無相大師六五〇年遠諱の参拝となります。妙心寺での塔頭寺院参拝、団体諷経を受け、お昼は湯豆腐「竹仙」にて京の味を満喫します。午

後には名刹・龍安寺を拝観いたします。

団体諷経料などが含まれるため参加費が高額ですが、今回参加された方には記念の輪袈裟が授与されます。輪袈裟は鮮やかな若葉色で、これは「古来より妙心寺の僧侶が法衣の袖口などに使っていた

独特の色」とされています。50年に一度のまたとない機会ですので、ぜひお参りください。

なお、参拝の旅についての詳細は、すでに配布したチラシをご覧下さい。お寺にも余分がありますので、ご遠慮なくお申し付け下さい。

実施日 11月13日(火) 日帰り

旅費 1万6千円(遠諱団体諷経料含む)

申込方法 10月末日までに旅費と申込書を添えて松禪寺までお申し込み下さい。



妙心寺文化財の護持に向けて 微笑会のご案内



大本山妙心寺では、

数ある国宝、重要文化財及び堂塔伽藍の護持、顕彰とあわせて会員相互の研鑽と親睦を目的として、昭和45年に微笑会(みしょうかい)を設立発足しています。

本山では微笑会への入会を募っております。

微笑会のご案内
■年会費(4月1日)

3月31日) 個人会員 一口 1万円

■特典

松禪寺に申込用紙がありますので、お申し付けください。申込用紙に必要事項を記入、署名捺印のうえ、年会費を添えてお申し込みください。

※平成19年度微笑会地方大会が次のとおり開催されます。
日時 平成19年12月17日(月) 会場 宮津会館(宮津市字鶴賀)

次第 午後1時受付、午後2時式典、午後3時より記念講演。講師は(財)稲盛財団理事長、京セラ(株)名誉会長の稲盛和夫先生。

午後6時より懇親会。また、妙心寺宝物・管長師家墨跡展も同事開催されます。参加申し込みは、10月末日までに松禪寺まで。

微笑会特製パツジの贈呈(入会時)、特製会員証の発行(年1回)、微笑会会報の送付(年1回)、『花園誌』の送付(月1回)、総会のご案内(年1回)など盛り沢山。入会申込書



▲当番さん手作りのお弁当。おいしくいただきました。ごちそうさまでした。

新百歳と米寿を迎えられた皆さんに 管長様より表彰状と記念品授与

今年百歳を迎えられた藤田ふさ
さん（栗尾）に、妙心寺派管長
様から表彰状と記念の輪袈裟が今
般授与されました。

また、米寿を迎えられた 8 人の
皆さんにも同様に、妙心寺派管長
様より寿詞とお祝いの輪袈裟を賜
りました。

来年度も評議員さんや寺報など

を通じてご案内いたしますので、
ぜひご連絡ください。



秋彼岸法要を執り行いました

秋彼岸の中日会を 9 月 23 日、松
禪寺で執り行いました。まずは、朝
8 時半から当番さんによる食事作
りが行われました。秋の恵み、自
然の恵みをたくさん詰め込んだ、
おいしい弁当に仕上がりました。
午前 10 時半頃から、ボチボチお
参りの皆さんが来山され、30 人余
りの皆さんがお参りされました。
11 時の鐘楼の鐘が鳴り、その後、
本堂で皆さんと一緒に彼岸法要を
執り行いました。法要後、当番さ

ん手作りのお弁当をいただきま
した。

お彼岸、実りの秋と、今ある
命に感謝する法要でもありま
す。

四方山話

95 歳の現在も、医師としてのの
活動を続けておられる日野原重
明先生の著『いのちのおはなし』
（絵・村上康成）をご紹介します
します。子ども向けの、いわゆ
る絵本なのですが、4 年 2 組の
30 人に先生が『いのち』につい
て話しかけるお話です。

「いのちってなんでしょう？」



「生きているとは、どういうこと
だと思えますか？」

「いのちはどこにあると思いま
すか？」

そんなことを考えたことがあり
ますか。もし、子どもにそう尋ね
られたら、どう答えますか。興味
津々で絵本を読んでいきました。

95 歳のお医者さんの答えは…、
それは本を読んでください。

でも、お釈迦様のお話に相通ず
る答えでした。仏説四十二章經に、
お釈迦さまは、人間のいのちの長
さは一呼吸の間であるとお諭しに
なつたと説かれています。私たち
は、これまでに何回という呼吸を
繰り返してきたのでしょうか、そ
して、後何回の呼吸をするので
しょうか。吸って吐く、当たり前
だろうと笑われるかもしれませ
んが、人生の単位を一呼吸と見るな
らば、何という大切な一呼吸を
我々は繰り返しているのかと改め
て思います。いただいた命、その
時間を大切に使い、そして最後ま
で使い切ることが何より大切か
と、きつと日野原先生もそう言わ
れているのだと思います。



【ご案内】 達磨忌（だるま忌）と当山開山忌

来る11月3日（土）、松禪寺では達磨忌と開山忌を営みます。達磨大師は、禅宗の開祖です。南インドの小国の王子として生まれ、後に出家して菩提達磨と名を改めます。禅を伝えるために中国に渡り、洛陽の少林寺で面壁して坐禅すること九年に及んだと言われています。



また、松禪寺は来翁祖諱（らいおうそじゆん）和尚大禪師を開基として、禅師の師である一笑禅慶（いっしょうぜんけい）和尚大禪師を勧請開山としています。10月20日を忌日としております。この達磨忌と開山忌を次のとおり執り行いますので、ぜひお参りください。
とき 11月3日（土）、午前11時より法要、正午齋座（けんちん汁）
場所 松禪寺本堂
※恐れ入りますが、炊事当番さんは午前8時30分にご来山ください。

坐禅会のご案内

田舎家

堀内幸枝

坐禅はまず自分の呼吸に意識を集中するところから始まります。体と心を調べて静かに坐るとき、平素は気付きもしなかった生の情報が、心に溢れ入ってくるのがわかります。

鳥の声、風の音、木々の香り……。多忙で複雑な社会環境の中で自分を見失ってはいませんか。静かに自分自身を見つめ直し、心を癒して今を生きましよう。
日時 毎月20日
午後8時より約1時間程度

場所 松禪寺本堂
内容 般若心経の読経、坐禅を15分〜20分ほど組み、これを2回繰り返します。白隠禅師坐禅和讃の読経、茶礼
※坐禅を組めない人は、正座、イスに座つての坐禅をおすすめします。

表の庭には萩筵が日にてらてらと干されてゐるのに大きな家の中は陽陰の匂ひが冷たかった入り口の土間は一日中薄暗く冷え続け上り框のずっしり重い大黒柱は黒光りして七輪や膳の何時も台所の静物が無心にうつてゐた戸棚の上にかげられた古ぼけた時計が一つふとしじまの隙からコチ、コチ、コチ、コチ、と広々とした畳の上に落ちてゐた

